



あっさり黙示録

#22 『反キリストが狙い撃ちするメシアニックジュー』

黙示録 12 章

東住吉キリスト集会 高原 剛一郎 氏



お元気ですか。高原剛一郎です。今日はあっさり黙示録 第 22 回。黙示録 12 章の最後のポイントをご紹介します。今は、7 年間の艱難時代の間中期に起こることをお話しています。ちょうど 3 年半経った時の中間期に、反キリストがエルサレム神殿にズカズカと入り込んで、自分の形にかたどった偶像を安置します。それがイスラエルとの約束を破るのろしですよ。

それを見たイスラエル人たちは隣国のヨルダンに集団疎開します。この集団疎開は完璧に実行されて、完璧に成功します。完璧に成功して反キリストから逃れ、全員無事にヨルダンの避難地に辿り着くという表現を、黙示録では“鷲の翼に乗せて連れて来られる”と書いていました。これが前回の話です。

今日はその続きです。反キリストは、ヨルダンに集団疎開したイスラエルに攻撃を企てます。

黙示録 12 章

**15 すると蛇（悪魔/サタン）はその口から、女（イスラエル民族）のうしろへ水を川のように吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。**

蛇の命令で、女（逃げて行くイスラエル民族）を迫りかけるように背後から攻撃する。攻撃に使われるのは、女のうしろへ水を川のように吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。

水・川のように・大水は何を表すのでしょうか。文字通り H<sub>2</sub>O の Water でしょうか。違います。これは軍隊を意味する、聖書にしばしば出て来る表現なんですね。サタンは大軍隊をイスラエルに投入し、反キリストがそれを率いて、イスラエルに追いつくためにものすごい勢いでやって来る。なぜ軍隊のことだと言えるのか。旧約聖書にしばしばこの表現が出て来るからです。

イザヤ書 8 章

**7 それゆえ、見よ。主は、強く水の豊かなあの大河の水、アッシリアの王とそのすべての栄光を彼らの上にあふれさせる。**

ここで、中東の覇権国家アッシリアを不思議な表現で形容していますね。強く水の豊かなあの大河の水。大きな水、それがアッシリアの王が持っている軍隊。

**7 それはすべての運河にあふれ、すべての堤を越え、ユダに勢いよく流れ込み、あふれみなぎって首にまで達する。**

これは、昔ユダ王国が洪水になり、津波で首まで海水に浸かったというわけではありません。そんなことは歴史上起こってません。これは南ユダ王国に対するアッシリア軍の攻撃のこと。

アッシリアの大軍が南ユダ王国を蹂躪することを、**運河にあふれ、すべての堤を越え、ユダに勢いよく流れ込み、あふれみなぎって首にまで達する水**にたとえているのです。洪水とは大軍を意味する言葉です。

**ダニエル書 11 章 40 節**。ここは、**艱難時代**の中間期に起こることを語っている箇所です。**終わりの時に、南の王が彼と戦いを交える。北の王は戦車、騎兵、および大船団を率いて南の王を襲撃し、国々に侵入し、洪水のように通り過ぎる。**

**終わりの時**とは艱難時代の真ん中。**北の王が戦車、騎兵、および大船団**（陸軍も海軍も）を投入して**南の王を襲撃し、総攻撃を掛ける**。そのことを**洪水のように通り過ぎる**と表現しています。なぜ軍隊の総攻撃を、**洪水のように通り過ぎる**とか**大水が押し寄せる**と表現するのでしょうか。洪水が来てすべて押し流されてしまう状況は、軍隊が通った後の跡形もない様子とよく似ているからです。つまり、全滅戦争の総攻撃を**洪水**や**大水**で言い表しているのですね。

そのような旧約聖書の予備知識を頭に入れて、もう一度**黙示録 12 章**。

**15 すると蛇はその口から、女のうしろへ水を川のように吐き出し、彼女を大水で押し流そうとした。**悪魔は大軍を派遣して、ヨルダンにいるイスラエルを全滅させようとした、と解釈できるんですね。

**16 しかし、地は女を助け、その口を開けて、竜（悪魔）が口から吐き出した川（軍隊）を飲み干した。**

神が超自然的な方法でその大群を全滅させ、兵士たちの死体は土に帰る。これが**地が飲み干す**という意味です。悪魔がどんなに大軍でヨルダンに避難しているイスラエルに総攻撃を仕掛けても、超自然的な神の守りがあるので手出しできない状態になった。

では、悪魔は諦めたのでしょうか。ヨルダンにいるイスラエルの民を攻撃することは、もはや出来ません。そこで、別のターゲットを狙い撃ちにするんですね。

**17 すると竜（悪魔）は女（イスラエル）に対して激しく怒り、女の子孫の残りの者、すなわち、神の戒めを守り、イエスの証しを堅く保っている者たちと戦おうとして出て行った。**

悪魔はヨルダンにいるイスラエルへの攻撃は諦めましたが、その代わりに**女の子孫の残りの者、すなわち、神の戒めを守り、イエスの証しを堅く保っている者たち**を目の敵にすることに決めたんです。それは、艱難時代に入ってから、前半の3年半の間に「イエスこそユダヤ民族のメシアだったのだ。全世界の王となられる方だったのだ」と気がついて信じた者たち。

このイエスを信じるイスラエルの信者（メシアニックジュー）たちを全滅させるために、悪魔は2人の人物を起こして彼らを滅ぼそうとします。1人は反キリスト。もう1人は反キリストを補佐する偽預言者。この2人については**黙示録 13 章**に詳しく語られているので、次回は反キリスト・偽預言者とはいったい何なのか、誰なのか、どういうものなのかをご一緒に考えたいと思います。

よろしければ、またお付き合い下さい。チャンネル登録もお願いします。

ではまた お目にかかりましょう。皆さん、お元気でいてください。さよなら！

☆使用した聖書は「聖書 新改訳 2017」です。